

いじめ対策アプリの運用を開始

15日、主に区内の小・中学生を対象とした「すぎなみネットでトラブル解決支援システム」の運用が始まりました。これは、小・中学生の間で、利用が急激に増えているスマートフォンに対応するもので、インターネット上でのいじめなどのトラブルに巻き込まれない対策やいじめを受けている子どもたちに気軽に相談をしてもらうことが目的となっています。

平成23年10月、滋賀県大津市で中2生徒がいじめで自殺する事件が発生。これを契機に、区立中学校の生徒会は、平成24年から「生徒会サミット」を開催し、生徒自らが考え行動する取り組みが始まっています。また、校長や副校長経験者や指導主事などで構成する「教育SAT（サット）」を組織し、いじめなど学校の課題解決に向けた取り組みを支援してきました。さらに、25年度には専門員を配置し、「すぎなみいじめ電話レスキュー」といった相談窓口も設置してきました。

しかし、問題行動調査の結果では、小中学校でのいじめは、24年度478件が25年度では531件と増加傾向となっています。また、スマートフォンの普及によって、ラインやツイッターなどのSNSが、いじめなどのトラブルのきっかけになるケースが増えています。最初は、小さな言葉の行き違いが、SNSで拡散され仲間外れやいじめとなり、そのいじめはエスカレートしていくことが多くあります。



Android 版

そこで、子どもたちに普及しているスマートフォン用に、いじめ対策アプリを製作しました。アプリは、いじめなどのトラブルに巻き込まれないようにするための対策やいじめにあった場合の相談機能を備えています。アプリからは24時間365日いつでも、いじめの相談をメール送信することが可能です。そのメールを受け取ると、数日以内に適切な対処方法を返信することになっています。



iOS 版

[問い合わせ先]

済美教育センター教育SAT 電話3311-0021